

東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei
Album
2022
Summer



東京学芸大学
のあゆみ
学芸
アルバム



- 写真上：東京学芸大学附属小金井中学校「生徒会誌」第9～15号(1956～1963年)大学史資料室所蔵
- 写真下：「池袋教室・家庭科授業」(1955年頃)「三十年のあゆみ」東京学芸大学附属小金井中学校、1976年

附属小金井中学校の学びと生活

【会期】2022年7月5日(火)～9月30日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話]042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



新たな大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、附属図書館の増築完成に伴い、2021年度新しく図書館3階に事務室と閲覧室を開設しました。これを機に、大学史資料室では、毎年実施してきた展示会に代えて、常設展示を行っていくこととしました。これは、東京学芸大学大学史資料室の設立から10年を迎えるなかでの新しい試みです。私たちは、大学史資料室の機能をよりいっそう高め、新たな地平を切り拓くにふさわしい常設展を創り上げていきたいと考えています。

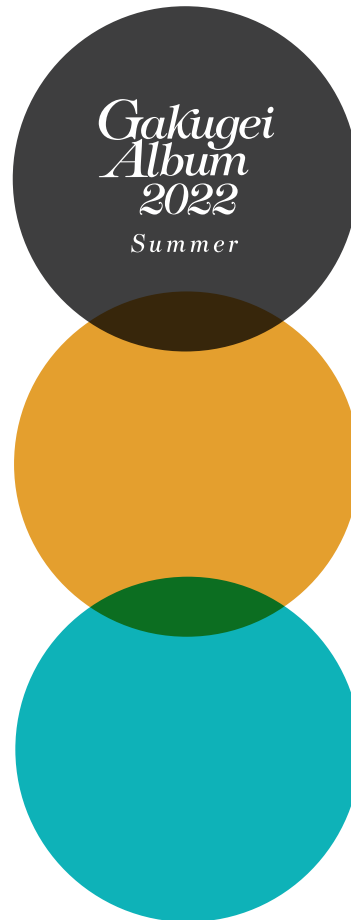
大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

この新たな常設展示は、年間テーマを設定し、1年間に4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

今年度第二期は7月5日から展示を開始し、今回のタイトルは「附属小金井中学校の学びと生活」です。この展示では、1947年から1950年代にかけての東京学芸大学附属小金井中学校に焦点を当て、創立当初の学校の様子や、生徒たちの活動・生活、教育実習などの教育研究活動について、当時の写真や生徒会新聞・文集そして教育実習指導案などの各種資料から紐解きます。本展示は、附属小金井中学校の校長室に保管されていた資料群（「金中アーカイブズ」）を中心に内容が組み立てられています。2018年に大学史資料室に移管された「金中アーカイブズ」は、東京第二師範学校男子部附属中学校、東京学芸大学附属小金井中学校の教育・研究活動に関する貴重な記録資料群です。その一端を、展示を通してご紹介できることは、大学史資料室としても大変喜ばしいことです。

2023年東京学芸大学は、1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えます。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ予断を許さない状況ではありますが、私たちは小さくとも確実な歩みを止めることなく、一步一步未来に向けて歩んでいきます。この世界的な危機が乗り越えられたとき、常設展示に映し出される東京学芸大学とそこで学ぶ学生の歩みが大きく前進していることを願っています。



東京学芸大学のあゆみ
學藝アルバム



2022年7月5日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

東京学芸大学大学史資料室常設展示

